学校番号	T3017

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	音楽Ⅰ　改訂版　Tutti（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主として歌唱と合奏をします。歌唱は腹式呼吸を心がけるようにしましょう。
合奏は楽器に親しむ事を大きな目標としています。簡単なフレーズをアレンジしているものに取り組んでもらいます。楽器に不慣れな人も徐々に慣れていくことができると思います。

2　学習の到達目標

歌うことや、協力して合奏をする等の音楽活動を通して、音楽に親しむ。また、音楽的な感性を高め、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち,歌唱,器楽,創作,鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し,それらの働きを感受しながら,歌唱,器楽, 創作の音楽表現を工夫し, どのように歌うか, 演奏するか, 音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱, 器楽, 創作の技能を身に付け, 創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し, それらの働きを感受しながら, 楽曲や演奏を解釈したり, それらの価値を考えたりして, 音楽に対する理解を深め, よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業への出席、音楽への関心、レポートの提出状況、実技テストへの取り組み姿勢等の学習態度を評価する。	授業の中での実践の状況や実技テスト、レポートの内容で評価する。	個人及びグループの演奏の状況や提出作品等で評価する。	レポート、鑑賞文、授業中の発言内容、発表の内容等で評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

月	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	少年時代 Caro mio ben	斉唱で歌う 独唱する	○		○		a:授業に遅刻せずに出席し、積極的に参加し、レポート等も提出している。 c:腹式呼吸をマスターして大きな声で歌えている。	出席状況 授業態度 レポート 授業プリント 実技テスト等
6	野ばら	二重唱させる		○			b: 音程正しくお互いにきき合いながら歌おうといする表現意図を持っている。	
7 8 9	風になりたい	合奏パートを決め、以下の段取りで学ぶ。 １）音とり ２）パート練習 ３）合奏練習 ４）発表	○	○	○	○	a: 真面目に協力し合って取り組んでいる。 b: リズムや音色の表情を感じてどのように演奏するかという表現意図を持っている。 c:基本的な演奏技術ができている。 d:他者の発表のよいところを味わって聞ける。	
10 11	自由曲	グループ分けをして好きな曲を合奏させる	○	○	○		a:積極的に参加している。 b: 曲想を感じてどのように演奏するかという表現意図を持っている。 c:基本的な演奏技術ができている。	出席状況 授業態度 レポート 授業プリント 実技テスト等
12	箏曲「乱輪舌」	日本の伝統音楽に親しませる				○	d:日本音楽特有の音楽要素について理解を深めている。	
1 2 3	アマデウス ノヴェンバーステップス	ビデオ鑑賞 CD鑑賞―日本の作曲家の作品を聴く				○	d:モーツァルトの音楽について理解を深めている。 d:日本人作曲家の音楽について理解を深めている。	

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。